

— 宮司の祝詞奏上 (例祭10月15日) —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

平成30年11月1日

第 72 号

発行 所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

御代替わり

明治・大正・昭和・平成と続いた元号(年号)も、明年には改まることとなりました。昭和五十一年に元号法が制定されて「一世一元の制」が確定、改元は皇位の繼承があつた場合に限り改めると規定されています。元号法の制定当時は、国民の九割近くが元号を日常使用していたそうですが、近年では西暦を使用、または併用する事例が多くなったように感じます。

平成三十一年四月三十日に天皇

陛下が退位され、翌五月一日に太子殿下の天皇即位と改元することが決定されています。今上陛下の退位と「平成」の元号が変わる事に淋しい思いもいたしますが、新たな御代の始まりを国民挙つて奉祝したいものです。事前に発表される元号も楽しみです。

因みに今迄で最も期間の長かつた元号は昭和の六十二年と十四日。

最も短かつた元号は暦仁の二ヶ月と十四日だそうです。

阿蘇神社

宮司 大 島 大 明

敬 神 生 活 の 綱 領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
國の降昌と世界の共存共榮とを祈ること

奉祝天皇陛下御即位三十年
平成二十年例大祭を斎行//

去る十月十五日に阿蘇神社例祭が斎行されました。定刻宮司以下祭員が参進して所定の座に著き祭典が開始されました。

先ず御本殿の御簾をかかげ、神饌と神社本庁よりの幣帛料が神前に供えられました。次に宮司が御神徳を称えるとともに、氏子敬者の平穏と更なる御加護を祈念する祝詞を奏上しました。

次に巫女が笛太鼓にあわせ神楽舞を奉納、その後官司・参列者の代表が玉串を捧げて拝礼を行いました。最後に御神前の御簾を下ろ



—巫女による神楽舞の奉納—

その後境内で記念撮影を実施、次いで社務所に移動して直会を開催しました。直会では北島総代会長の挨拶の後、八江利春県議、J.A.長崎西彼の谷口謙太郎理事、松尾義光諫早市議が交々祝辞を述べ



—表彰状の伝達式—

黒木康吉 ◇奉獻酒 川崎 剛、十八銀行多良見町支店長・木村 明、親和銀行多良見町支店長・中山 和、たちばな信用金庫多良見支店長・吉田 以 上

原口博道評議員の発声で乾杯、御鎮座四八四年の例大祭を祝いました。

例大祭に際し左記の通りご献納を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。

◇常帛料 神社本序

◇玉串料 長崎県神社庁

◆初穂料 慈惠病院 松本卓郎
有森商會 森誠司、八工利春、

株溝上建裝 溝上元治、JA長崎

西彼理事 谷口謙太郎、諫早市商工會、公尾義光、比島守幸、前田

二会 桂月義光 北島守幸 前田
信太郎、老人会誠会、木下政儀、

高柳秋雄、森久茂、峰輝次、

西平 隆
辻 秋義
川口 勉

中路徹、西村駒一、原口博道、

犬塚 勇、松山 司、森 文茂、
公尾勝正、高公 爰、北島勝幸、

木原勝正、高橋 怜、北島勝三
福田泰昭、内田克夫、坂井義則、

黒木康吉
『春の酒』
一、良子

奉南酒 川崎岡 十八銀行多
良見町支店長・木村 明、親和銀

行多良見支店長・中山和、たち

はな信用金庫多良見支店長・苦田
仁志 以止



平成の御代

昭和六十四年一月七日午前六時

う被災地のお見舞い、戦後五十年に当たつては長崎市へ行幸啓されました。

三十三分に昭和天皇が崩御され、宝算は八十七で歴代の天皇では最も長寿であったと報じられました。翌八日に継宮明仁親王が即位して第一二五代天皇となり、元号は平成と改まりました。

新しい御代

諒闇の明けた平成二年四月、花の万博(花と緑の博覧会)ご視察の為、京都・大阪へ初めての行幸啓。爾来平成三十〇年までに、全国四十七都道府県への行幸啓を二巡されたそうです。全ての都道府県をお訪ねされたことは、歴代の天皇で初めてのことです。

因みに、天皇陛下お一人での外出を行幸、天皇后陛下がお揃いでの外出を行幸啓と称されます。

「全國植樹祭」「國民体育大会」

「全國豊かな海づくり大会」は三大長崎県には平成二年五月に平和公園でご供花、諫早干拓資料館、対馬真珠養殖場のご視察されました。その後も雲仙普賢岳噴火に伴た。その後も雲仙普賢岳噴火に伴た。

◎総代会よりのお知らせ

◇定例評議員会の開催

去る五月二十五日に定例評議員会を開催しました。会議では予決算書及び活動計画について審議されました。また今期の監事が選任されました。

会を組織した。会議では予決算書及び活動計画について審議されました。また今期の監事が選任されました。

神宮大麻颁布功績 高松 悟殿
・敬神功劳表彰

原口博道 氏(化屋)
松山 司 氏(木床一区)

株森 苑

株溝上建設

松山敏雄殿

針尾憲一殿

溝上元治殿

◇社務所周囲の庭木剪定

平成三十一年二月二十四日に天皇陛下御在位三十年記念式典が行われます。その後四月三十日に天皇陛下には退位礼正殿の儀を経て、皇位を皇太子殿下のお譲りになります。翌五月一日には皇太子殿下が百二十六代天皇陛下として即位され、新たな元号の御代が始まります。

正月の薪つくりなどに汗を流しました。総代会では、必要に応じて集まり、境内の整備作業を実施しています。

◇注連縄つくり

十二月二日(日曜)午前九時より注連縄つくりを行います。神社総代・評議員が中心となつて、鳥居や拝殿に飾り付ける注連縄を作ります。経験者が少なく苦慮しています。参加いただける方は、社務

阿蘇神社からは、西彼支部の研修会に三名、中央研修会には十名が参加しました。

特に中央研修会では表彰式も実施され、阿蘇神社より四名が長崎県神社庁より表彰状を授与されました。おめでとうございます。

平成三十年度監事

七月には西彼支部での総代研修会、九月には神道中央研修会(神社庁主催)が開催されました。

十二月二日(日曜)午前九時より注連縄つくりを行います。神社総代・評議員が中心となつて、鳥居や拝殿に飾り付ける注連縄を作ります。経験者が少なく苦慮しています。参加いただける方は、社務所までお知らせ下さい。

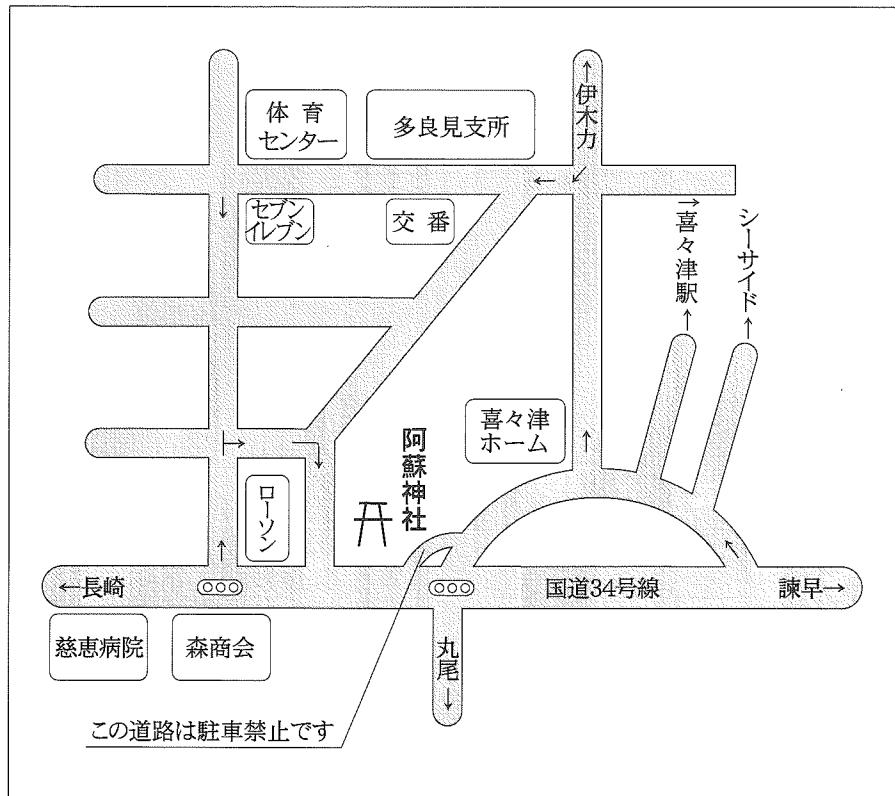
◎祝祭日には国旗を掲げて御祝いいたしましょう。

おふだ

七五三詣は阿蘇神社へ!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。

| | |
|-------------|-----------------------|
| 男女 | 男女 |
| 七 歳 | 三 歳 |
| 平成 二十六年生 | 平成 二十八年生 |
| 平成 二十四年生 | 平成 三十年の七五三祝 数え年 |



◆編集後記◆

九月六日未明、北海道胆振東部地震（最大震度七）が発生した。近年の異常気象に加えて、台風・地震・火山の噴火などによる災害が頻発しています。大変な時代になつたとの思いです。

▼八月に開催されたアジア大会では、十代選手の活躍が顕著でした。二年後の東京オリンピックに期待が出来そうで、楽しみに待ちたいと思います。

▼今年も残り少なくなりました。
ご自愛専一にお過し下さい。

◆お知らせ◆
十一月四日(日曜)、十日(土曜)、十一日(日曜)、十八日(日曜)の、四日間は、予約は不要です。
☆受付時間 午前十時～午後三時
これ以外の日時にご参拝予定の方は、お手数ながら事前に予約をお願いします。
☆駐車場には限りがございます。
乗り合わせてお越し下さい。